

老子摘解

乾

番外書冊

儒家十八一

新刊本

和書門			
二	四	六	一
六	六	函	號
二册	六架	函	類

270

庫文閣内	
二九	和
一八	二
架册	册

内閣文庫	
番號	和 24601
冊數	2 (1)
函號	191 270

191-270



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



題老子摘解首

淺草文庫

家君中年ヨリ老子ノ説ヲ喜ヒ嘗テ其中ノ數章
 ヲ取り國字ニテ之ヲ解シ以テ讀老ノ方ヲ示ス
 名ケテ老子摘解ト云フ既ニメ折玄ノ著アリ摘解
 ハ長ク廢シヌ予頃口舊稿ヲ閱スルニ折玄ハ實
 ニ其説ヲ敷演シタル者ナリ然リト雖モ折玄ノ
 言ヒ及ホサル所アリ一切ニ廢棄スルハ惜ムヘ
 シ折玄ハ簡古ニメ其趣ヲ窺ヒ易カラサル者ア

リ、若シ此本ヲ以テ楷梯トセハ、初學ニ於テ益アラニカ、文字重複ノ所ハ、今刪除スルニ及ハス、之ヲ並存ス、凡二十一章ナリ、廣瀨孝識、

(Faint bleed-through text from the reverse side of the page)

老子摘解卷上

荅陽廣先生著

男孝校

道可道章

道可道非常道。名可名非常名。

道トハ、人ノ行フヘキ道ナリ、親ニ事ヘ君ニ事フルニ、皆相應ノ宜キ所アリ、其任方ヲ指ノ道ト云フナリ、譬ヘハ、親ニ事フル道ハ、隠スニアツテ犯スナシ、之ヲ孝ト云フ、君ニ事フル道

老子摘解卷上

ハ、犯スヲアツテ隠スヲナシ、是ヲ忠ト云ス、然
レ、氏、孝ノ道ヲ以テ君ニ事レハ、不忠トナリ、忠
ノ道ヲ以テ親ニ事レハ、不孝トナル、忠孝ミナ
常名ニアラス、常トハ何方ニ持チ行キテモ、易
ハラ又所ヲ云フ、常久不易ノ道ト云フ心ナリ、
名トハ、孝ト云ヒ、忠ト云フ、即チ名ナリ、身ノ行
フ所ヨリイヘハ、道ト云ヒ、口ノ稱スル所ヨリ
云ヘハ、名ト云フ、實ハ同シ物ナリ、

無名天地之始。有名萬物之母。

右ノ如ク、天地ノ始メヨリ、道ト云フ者ハ、常道
アレ、氏、何ニトモ名ハ付ケラレヌ故、名ハ無カ
リシナリ、世開ルニ及ンテ、自然ト物ノ名テキ
テ、孝不孝、忠不忠ノ差別明カナリ、其ノチ名ヨ
リ名ヲ生シ、萬物ソレソレニ名定リタリ、是モ
萬物ハ開闢ノ始メヨリアル者ナレ、氏、名出來
ルニ及テ、始メテ見ハレテ、萬物新ニ出生スル

力如之、故二萬物ノ母ト云タル者ナリ、

常無欲^三以觀^二其妙。常有欲^三以觀^二其徼。

二句ハ、學者ノ工夫ヲ云ヒタルナリ、常無トハ、

常無名ナリ、常有トハ、常有名ナリ、先試^二之^一、道

二名ヲ付ケスニ置テ觀ルヘシ、何方ニ向ケテ

モ、滯ルト云フトナク、誠ニ妙ナル者ナリ、又試

之^二、世間ノ通リ、事々物々ニ名ヲ付ケテ觀ル

ヘシ、名ノカス千萬アリ、彼理ハ此ニ通シ難久

此道ハ彼ニ差支ユル、即チ徼アルナリ、徼トハ、

國界ノシルシナリ、通スル所アリ、通セサル所

アルナリ、

此兩者、同出而異名、同謂之玄。玄之又玄、衆妙之門。

兩ハ妙ト徼トナリ、同ク玄妙ノ理ナリ、又其奧

ニ、ニツノ者ノ出ル所アリ、是ヲ又玄ト云フ、此

所一切ノ妙、之ナ其中ヨリ出ルナリ、コ、ハ誠

ニ言語ニ絶ヘタル場所ナリ、

此章ハ老子ノ首章ニメ、立言ノ大意ヲ述ヘタ
 ルナリ、凡ソ物實アレハ名アリ、然レ凡、名立テ
 實離ル、莊子ニ、名者實之賓也ト云ヘリ、然ルニ
 世人名ニ惑フテ實ヲ失ヒ、信ト云ヘハ、尾生ノ
 信ノ如キ一ヲ認テ實トシ、直ト云ヘハ、直躬カ
 直ノ如クニナル、夫故老子ハ物ニ名ヲ付ケス、
 是ヲ無名ノ學ト云フ、然リト雖モ、一向名ヲ廢
 ノハ、世上不通用ナリ、能ク其道理ヲ知テ行ヘ

ハ名アリト雖モ害ナシ、名ヲノクレハ、滯リナ
 ク妙ナル一ハ勿論ナリ、名アリト雖モ、其道理
 ヲ能ク合點メ、名實離レサル様ニスレハ、是亦
 一種玄妙ノ理ナリ、故ニ同謂之玄ト云ヘリ、
 凡一切ノ是非利害、皆假リニ設ケタル名ニメ、
 其実ハ糾ヘル繩ノ如ク、分別シ難キ者ナリ、イ
 ワユル東家ノ西ハ、西家ノ東ニテ、佛家ノ語ニ
 モ、本來無東西、何所有南北ト云ヘリ、莊子ニ、老

子ノ學派ヲ論ム、建之以常無有トアリ、是即チ
常無常有ナリ、是ヲ二本柱ト立テ、道理ヲ説ク
此道理ハ、手近ク譬ヘハ、當時流行スル真金銀
札ノ所ニテ曉ルヘシ、常道常名ハ、真金ノ如シ、
天下ニ通用セサル所ナシ、是妙ナリ、假道假名
ハ、銀札ノ如シ、其國ニテ用立ツ所ハ、真金同様
ナレド、境ノ外ニ持テ行キテハ、一錢ニモナラ
ス、忠ハ孝ニナラス、孝ハ忠ニナラヌ類ナリ、是

徼ナリ、又玄トハ、玄ノ一層奥ニ又玄アリ、夫ヨ
リ一切ノ妙所出ルト云フイナリ、此一層ト云
フハ、有ニモ非ス、無ニモ非ス、總シテ道理ヲ説
ク者ハ、是マテト刊行ニヲシタル様ニ言ハレ
ヌ者ナリ、夫故此ノ如キ所ニ歸スルナリ、後世
或ハ又玄ト云フ所ヨリ、一種ノ境界ヲ開キ、種
々ノ説ヲ為スハ、讀書ノ理ニ暗キナリ、

天下皆知章

天下皆知美之為美。斯惡已。皆知善之為善。斯不善已。
 美ハウツクシキ一ナリ、惡ハミニクキ一ナリ、
 美キ物モ、ウツクシト見ユル程ニナリテハ、後
 ハ見ニク、ナル、善事モ、善ト見ユル程ニアレ
 バ、後ニハ又疵カ出テ不善トナル、美モ善モ、人
 ノ知又様ニアルカ、真美真善ナリ、其仕方ハ、後
 ニ云フ無為ニアリ、
 故有魚相生。

是ヨリ以下ハ、譬ヘヲ引テ、前二句ノ意ヲ明カ
 セリ、譬ヘハ、人ノ金錢ヲ畜ヘタルハ有ナリ、之
 ヲ用ユレハ無トナル、是有ヨリ無ヲ生ス、一錢
 モナキハ無ナリ、サスレハ是非出精ノ畜ユル
 様ニナル、是無ヨリ有ヲ生スルナリ、
 難易相成。

川下ヨリ舟ニ乗テ、川上ニ行クハ難シ、歸リニ
 下タルハ易シ、是難ヨリ易ヲ成ス、初メ川下ニ

下ルハ易シ、歸リニ上ルハ難シ、是易ヨリ難ヲ
成スナリ、
長短相形。

一丈ノ物ヲ、ニツニ切テ用ユル時、始メテ六尺ニ
切レハ、残り四尺ニ成テ短シ、始メテ短クスレ
ハ、後長クナル、是長短相形スルナリ、
高下相傾。
傾トハ、向フノ物ヲ此方ヘ移シ取ルナリ、譬ヘ

ハ、川ノ上ニ岸アレハ、岸ノ土川ヘクヘコム様
ニナル、是卑キヨリ高キヲ傾クルナリ、其アト
ハ、川サテヘアリテ、川ノ泥ヲ岸ニ上ル、是高キ
ヨリ下ヲ傾ルナリ、

音聲相和。
吾ヨリ人ニモノイヘハ、人ヨリ吾ニ答フ、吾惡
聲ヲ以テスレハ、人亦惡聲ヲ以テ答フ、吾美言
ヲ以テスレハ、人亦美言ヲ以テス、是相和スル

ナリ、前後相隨。

見物事アル時、吾人ノ前ニ居ルハ前ナリ、事終
テ後引退ク時ハ、前ニ居ル者ハ、必スアトニヨ
クレ、後ニ居ル者ハ、必ス前ニ出ル、是前ト後ト
相隨フナリ、以上ノ譬へ、皆前ニ善アレハ、後ニ
惡アリ、左ニ利アレハ、右ニ害アリ、故ニ前ニ云
タル、美ハ惡トナリ、善ハ不善トナルワケハ、是

ニテ知ル、ナリ、譬へハ、人危急ノ病アルニ、醫
師劇劑ヲ用ヒテ之ヲ愈ヤス、是美ナリ、善ナリ、
病人モ大ニ活命ノ恩ヲ感スルナリ、然レモ、其
藥毒残りテ、又外ノ所ニ痛ミヲ生ス、是惡ナリ、
不善ナリ、其時ハ又醫師ヲ怨ムルナリ、一切ノ
世事皆此ノ如クナルユヘ、容易ニ手ノ出サレ
又物ト云フ意ナリ、是以聖人處無爲之事。行不言之教。

是以下ハ、前ニ云フ如ク、世間ノ事ハ、一切手ノ
出サレヌ物ユエニト云フナリ、聖人ト云フハ、
知慧深ク、又過去現世未來ヲ、一目ニ見通シタ
ル入ナリ、世事ハ手ノ出サレヌ物ナカラ、世ニ
居テ、木佛ノ如クニシテ居ルハ、ナラヌナリ
リ、夫故ニ無為之事ト云モノアリ、如何程シテ
モ、一向セヌト同シナリ、不言之教トテ、如何
程イフテモ、言ハヌト同シナリ、聖人ハ之ヲ

行ヒ玉フ故ニ、後難ヲ免レ玉フナリ、
萬物作焉而不辭。

是ヨリ以下ハ、無為ノ事ノ仕様ヲ説クナリ、萬
物トハ、萬人ト云フカ如ク、作トハ、事ヲ思ヒ立
ナリ、不辭トハ、萬人ヨリ思ヒ立テ、此方ニ頼ム
時ハ、辭退セシテ引受ルナリ、萬人ノ頼ミニ
付キ、據口ナクスルナレハ、如何程ノ事ヲシ
テモ、吾スルニ非スヌ、人ヨリセシムルナリ、是

即予無為之事ナリ、人ニシテ事ヲ成ラズルニシテ
 生而不有。為而不恃。功成而不居。
 此三句ハ、事成就シタル上ノ心得ヲ云ヒタル
 ナリ、生ハ事ノ出來ルナリ、有スルトハ、我モ
 ニスルナリ、恃ハ功ヲ恃ムナリ、三句皆同シ
 ナレバ、タリカヘメ委シク云ヒタルナリ、扱人
 ノ頼ニ付テ事ヲ起ス、萬人一同ニ望ムトナ
 レハ、格別骨折ラストモ、功ハ成就スルナリ、其

成○就○シ○タ○ル○時○ニ○我○功○ニ○セ○ス○吾○ハ○人○ノ○ア○ト○ニ
 付○テ○働○キ○タ○ル○ナ○リ○事○ノ○成○ル○ハ○諸○人○ノ○功○ナ○リ
 我○功○ニ○ア○ラ○ス○ト○云○フ○テ○恩○賞○ヲ○ト○モ○少○シ○斗○リ
 受○納○メ○早○速○其○場○ヲ○立○退○ク○ナ○リ○是○ヲ○生○而○不○有
 爲○而○不○恃○功○成○而○不○居○ト○云○ナ○リ○是○マ○テ○カ○無○爲
 ノ○注○釈○ナ○リ○
 夫唯不居。是以不忒。
 此二句ハ、無為ノ功能ヲ述ヘタルナリ、功ヲ人

二讓ルハ、損ノ如キナレド、實ハ然ラス允ソ成
ルニアレハ、必ス敗ル、ニアルハ、前ニ述タル
譬ヘノ如シ、故ニ功ヲ我物ニスレハ、又々後難
ニカ、リ合フニアリ、早ク立退ク時ハ、其患已
ナクメ、其身モ全ク、名譽モ後ニ殘ルナリ、是居
ラヌ故ニ、吝ラヌト云フ理ナリ、是即チ真美真
善ナリ、我功名ヲ入ニ讓ル故ニ、諸人乏ヲ目サ
サス、後ノ禍ナシ、無為トハ、人形ノ如ク、何ニモ

セ又ニハ非ス、マタ人カ思ヒ立テハ、何時モ同
意スルニモ非ス、允ソ事ハ始ムヘキ時節アリ、
其時ニ我ヨリ始メサレハ、是非トモ人ヨリ始
ムルナリ、人ノ始メタル上ニテ之ニ從フ、是無
爲ナリ、不言之教ハ、無爲之事ニ准メ知ルヘシ、
我言フヘキ事ヲ言スニ置ケハ、人ヨリ我ニ言
ハシムル、我言フニ非スシテ、人ノ言フナリ、是
不言之教ナリ、

三十輻共一轂章

三十輻共一轂。當其無有車之用。

此章ハ、無ノ妙用ヲ明シタル者ナリ、輻トハ、車ノヒノアシナリ、輪一ツニ付キ三十本アリ、其レカ中ノ轂ト云フ者ニ、ハサミテアルナリ、轂ノ中、空虚ナル所アリ、能ク輻ヲ運動ス、故ニ車舞フナリ、轂ノ中ノ何ニモナキ所、第一緊要ノ所ナリ、三十本ノ輻モ、何ニモナキ所アル事

ニテ用ニ立ツナリ、

埴埴以爲器。當其無有器之用。

埴トハ、子ハ土ナリ、燒物ニスル土ナリ、埴ハ調合スルナリ、子ハ土ヲ調合メ、茶碗其外ノ器物ヲツクル、其器ノ用ニ立ツ所ハ、器ノ中ノ空虚ナル所カ、用ニ立ツナリ、茶碗ノ細工ハ、色々ナル者アレ、凡、畢竟ハ何ニモナキ所カ、用ニ立ツ所ナリ、湯茶ヲ盛ルモ、物ヲ入ル、モ、極意コ

ノ空虚ナル所カ、用ニ立ツナリ、
鑿戸牖以為室。當其無有室之用。

牖ヲアクルニモ、色々ノ細工ハアレバ、畢竟ハ
牖ノ中ノ何ニモナキ所カアル故、其間ヨリ日
月ノ光サシ込テ、一室ヲ照スナリ、一室ノ細工、
千差萬別ナレバ、牖ノ中ノ空虚ナル所カ、入用
ノ所ナリ、
以上ノ三喻、三事ナレバ、其道理ハ一ナリ、何事

モ空虚ナル所カ、第一ノ入用ノ所ナリ、

故有之以為利。無之以為用。

故トハ、前三ヶ條ノ故ヲ以テナリ、三十本ノ輻
ノ、人ノ利ニナルモ、器牖ノ用ニ立ツモ、皆無ト
云フ者カ、極意ノ入用ナリ、無カナクテハ、如何
程立派ノ細工ニテモ、一向用ニ立タス、世事モ
亦此ノ如シ、コノ所ヨリ考ヘテ、無ノ大切ナル
トヲ知ルヘシトナリ、

此章ハ、主章ノ常無欲以觀其妙ト云フヲ、委シ
ク述ヘタルナリ、其外八十一章ノ中、常無觀妙
ノ理ハ、每度之ヲ云ヘリ、此章最モ明白ニ又、迄
ク譬ヘテ取リタル者ナリ、世人唯有ノ用立ツ
トヲ知テ有ト云フ者ハ、無アリテソトニテ、始
メテ用ニ立ツナリ、同ク用ヲナセ凡、魚ノ功尤
モ上ニ居ルト云フニ心付カス、故ニ丁寧反復
シテ之ヲ述ヘタルナリ、

有無ト云フ一、老子第一ノ要義ニ又、易ニ陰陽
アルカ如ク、是ヲ佛説ニスレハ、地水火風ヲ天
地トス、是有ナリ、其上ニ空氣ト云フ者アツテ
之ヲ運用ス、是即チ無ナリ、天地ノ位ヲ得、日月
ノ運行、風雷ノ變化、總テ空氣アツテ、其間ニ行
ハル、ナリ、空氣ナケレハ、萬物壞ル、ナリ、人
ノ息ヲ物ニテ塞キタルカ如ク、人ハ一日二日
食セス凡、死スルトナシ、空氣通セ子ハ、忽チ死

スルナリ、故ニ萬物無ニ依テ生活セサルハナ
 シ、扱無ヲ離ルト離レサルト、動靜ニ因ルナリ
 靜ナレハ離レ難ク、動クハ離レ易シ、是虛靜ヲ
 貴フ所以ナリ、先ツ此大意ヲ知テ、無ノ妙用萬
 物ノ上ニアルヲ知ルヘシ、造化即チ無ナリ、
 是ハ眼前ノ理ニテ、人ノ知リタルナレト人却
 テ之ヲオロソカニスルナリ、今老子舉ル所ノ三
 條ハ、極テ瑣細ノ一ニ付テ、其理ヲ明スナリ、

無ト云フ一ヲ、人ノ行ヒニスレハ、論語ニ君子
 不器ト云フ、是即チ無ナリ、舜十六相ヲ舉ク、己
 レハ己レヲ恭シテ南面スルノ之、故ニ古人老
 子ヲ評ス、人君南面ノ術ナリトイヘリ、然レト
 老子ノ意ハ、萬事ニ付ケテ、己レハ無ノ處ニ居
 リ、人ヲ有ノ處ニ用ユルナリ、其意ハ之ヲ言ヘ
 ハ頗長シ、今暫ク之ヲ畧ス、
 有無二字ノ義ニ付、後世種種ノ議論アリ、無ニ

七階級ヲ立、是ハ有ニ對スルノ無、是ハ有無ヲ
離レテ、其上ニ一アル無ナト云フ、是皆莊列以
後ノ議論ニテ、老子ニハ言ハヌナリ、老子ノ
主意ハ、形アルヲ有ト云ヒ、形ナキヲ無ト云フ
ノ之、何ニモ外ニ高妙ナルナリ、唯其無中ニ
有アリ、虚中ニ實アリ、退中ニ進アリ、静中ニ動
アリ、變化測ラレサル所ヲ、孔子モ龍ノ如シト
歎シ、玉ヘリ、世人莊列ヲ見ルニ習フテ、無ノ字

二種々ノ鑿說ヲ唱フ、其言高妙ニ似タレ、
實ハ何ノ用ニモ立ヌナリ、此處老子ヲ見ルニ
付テ、緊要ナリ、今緊要ヲ是ニ載ス、

古之善爲士者章

古之善爲士者。微妙玄通。深不可識。夫唯不可識。故
強爲之容。

此章ハ、老子嘗テ孔子ニ告ルニ、君子盛徳容貌
如愚ト云ヘリ、此章即チ如愚ノ形容ヲセシ者

ナリ、古ノ善キ士ハ、其人トナリ、中々外ヨリハ、
推察出来ヌナリ、夫故何トモ形容シ難シ、今述
ル所ハ、強テ之カ形容ヲナス者ナリ、微妙トハ、
微ニシテ見難キナリ、玄通トハ、又ケトヨリテ
障リノナキナリ、是ハ誠ニ愚ナルニ非ス、唯
外ヨリ知り難キ故、自然ト愚人ノ如クニ見ユ
ルナリ、

豫兮若冬涉川。

豫ハ猶豫ナリ、寒中衣ヲ脱テ川ヲ渡ル時ハ、寒
ヲ畏ル、故、誰モウヂウヂトスルナリ、萬事ニ
付キ、タメライテ埒ノ明ヌ氣色、是ニ尤モ似タリ、
猶兮若畏四鄰。

猶モ猶豫ナリ、是モ諸事タメラヒテ、カ様ニシ
タラハ、前ノ人カ何ニトセンカ、カ様ニ言タラ
ハ、後ノ人カ何ニト言ンカト氣遣ヒテ、物事ハ
キト急埒ノ見ヘヌナリ、

儼兮其若客。

儼ハ嚴格ナル貌ナリ、人ノ中ニ出テモ、木人形ノ如クニ、笑モセズ、語リモセズ、唯客人ノ如ク構ヘテ居ルナリ、

渙兮若氷之將釋。

間ニハ言フ時モアリ、併シハキト云ヌナリ、氷ノ半ハ解ケ半ハ解ケサルカ如ク、
敦兮其若樸。

敦ハアツキナリ、樸ハアラケツリナリ、イカニモアラケツリニテ、飾ハ少ナク見ユルナリ、
曠兮其若谷。

曠ハ空虚ナリ、谷ノ中ノ空虚ニメ、一物モナキ様ニモ見ユルナリ、
渾兮其若濁。

渾ハニコル貌ナリ、水ノカキマセクソテ、底ノ濁リタル様ニ、ナニカ一物アル様ニモ無キ様

ニモアリ、ハキトセヌナリ、孰能濁以静之徐清。孰能安以久之徐生。

此一節ハ、上句ノ濁ルカ如シト云フ語ヲ兼テ、其濁ルニ付テテ、一趣向アルイヲ明シタリ、始ノ句ノ尻ヲ取テ、ソレヨリ趣向ヲ出ス、老子ノ文法ナリ、初濁カ如クニスルイ、追々之ヲ澄サシカ爲ナリ、急ニ澄サントスレハ事ヲ敗ル、自然ト澄ム様ニスヘキナリ、又一ニハ物ヲ急ニ

テカサントスレハ、宜シカラス、唯安寧ニ人、自然ニ生スルヲ待ニ如カス、是古人濁ルカ如ク見ユル所以ナリ、此譬ヘハ、直不疑カ、深切ナリ、不疑同舎ノ郎、金ヲ失ヒ、不疑ヲ疑ヒタレ、少シモ申譯ヲセス、取ヌ者ヲ取リタル分ニ、事ヲ濟シタリ、其後盜ヌ下カ自然ト分リ言ヒ懸クシタル者ハ、大ニ過チヲ謝シタルナリ、若シ其時急ニ申譯ヲシタリ、必定盜ヌ下カ分

ハモセズ、入ノ疑ヒモ、却テ解ケヌナリ、申譯ヲ
セヌハ、ニテ、始テ明白ニナリタリ、盜賊ト云
ハ、名ヲ蒙リナカズ、其分ニテ居タル、即チ濁
ナリ、安以久之トハ、同人ノ一ニテ言ハ、始ハ
直不疑ト云フ者、何ノ名モナカリシニ、右ノ件
ヨリ、長者ト云フ評判高クナリ、後ニ立身ヲ遂
ケタリ、是其福祿幸抱強キ處ヨリ、自然ト生シ
タル者ナリ、即チ徐生ナリ、

保此道者不致盈。夫唯不盈。故敝不新成。

右ノ如ク容貌如愚ニ見ユルハ、畢竟ノ處盈満
ヲ嫌フナリ、内既ニ聰明外マタ聰明ニ見ユル、
是盈満ナリ、カクノ如クナレハ、神怒リ人嫉ミ
テ、終ニ禍ニカ、ルナリ、故ニ内聰明ナル程、外
愚鈍ニ見ユルカ、調令宜シキナリ、故ニ盈満ス
ルナシ、満ルナケレハ、虧ルナシ、因テ身
家ト安然タリ、敝不新成トハ、舊キ者カ相續メ

易ハル一ナシ、夫故新ニナルト云一ハナシ、モ
トノマ、テスムナリ、如愚ノ形容モ、處々ニ見
ヘタリ、令其一ヲ釋スルナリ、

上善若水章

上善若水。水善利萬物而不争。處衆人所惡。故幾於
道矣。

上善トハ、善ノ仕方モ種々アリ、其仕方ノ上手
ナルヲ上善ト云フ、其仕方ハ水ニ似タリ、水ハ

一切ノ物ヲ潤メ、利益多キ物ナレド、サレ又一
ヲ無理ニハセ又者ナリ、不爭トハ、無理ヲセ又
一ナリ、人情ハ高キヲ好ミ、テ卑ヲ惡メド、水ハ
卑キ處ヲ好シテ流レ、行難キ方ヘハ行カス、行
ル、方ノミニ行クナリ、故ニ聖人ノ仕方ニ似
テ道ニ近キナリ、
居善地。

是ヨリ以下ハ、上善ノ仕方ヲ説キタルナリ、地

ハ場所ナリ、人ハ身ノ居リ處第一ナリ、我勝手
ヨクテ、人ノ邪魔ニ成ラヌ處ヲ擇ンテ居ル、是
居善地ナリ、善クストハ、上手ニ都合ヨクスル
ナリ、

心善淵。

淵ハ深シテ底ノ見ヘヌ物ナリ、人ノ心モ底ヲ
見ラレヌカヨシ、然レモ、底意ノ知レヌ氣味ワ
ルキ人ト云ハル、ハ無調法ナリ、人ニ知ラレ

與善仁。

又、氣味ワルカラレヌ様ニスル、是心善淵ナリ、
人ニ物ヲ與ユルモ、與ヘ様カ下手ナレハ、格別
忝ク思ハス、又傍ヨリ名聞者ナト云フテ譏ル
者モアリ、其所ヲ考ヘテ、クワヒヨク與ユル、是
與善仁ナリ、

言善信。

信モ尾生カ信ノ様ナルハ、下手ナル信ナリ、虚

ヲ言ハス、身ノ爲メニモヨキ様ニ言フ、是言善
信ナリ、

政善治。

民ヲ治ルニモ、有爲ナルヲスレハ、治メント
シテ、却テ亂ヲ招ク、無爲ニメ、人氣ニ逆ラハ又
様ニ治ムル、是政善治ナリ、

事善能。

能ハ才能ナリ、才能アル者ハ、事ニ使ハル、ナ

リ、事ニヨレハ、使ハレ過テ、身ノ迷惑ニナル、隨
分事調ヒテ、身ノ迷惑ニナラヌ様ニスル、是事
善能ナリ、

動善時。

身ヲ動カスニ、時節ヲ以テセサレハ、人ノ妨ニ
ナル、譬ヘハ芝居ノ中ニ居ルモノ、幕ヲ引キタ
ル間ニ手水ニユケハ、見物人ノ妨ニナラヌカ
如ク、是動善時ナリ、

夫唯不爭。故無尤矣。

是ハ前ノ七ツノ譬ヘテ、一ツニクルメラ言ヒ
タルナリ、事ハ七ヶ條ナレト、其任方ヲ一口ニ
イヘハ、不_レ爭ノ二字ニ歸スルナリ、善事ヲサル
ル時ニシテ、サレ又時ハセスニテ、夫故ニ尤
メラレス、人ノ爲メニモ我カ爲メニモナル、是
ヲ上善若水ト云フナリ、

老子ノ主意ハ、世上ニ善ヲナシテ身ニ禍ヲ招

ク者多シ、是善ハ善ナレト、善ノ仕方下手ナル
故ナリ、夫故身ニ禍ヲ招キテ、人ノ爲メニモ格
別ナラス、唯水ノ卑キニ流ル、様ニ行レヌ所ヘ
ハユカス、サル、一斗リヲシテ置ケハ、人ノ爲メニ
モ我カ爲メニモナリテ、上善ト云フヘキナリ、
其仕方ハ下ニ七ヶ條ノ事ヲ説キタルニテ知
ルヘシトナリ、但シ此内ニテ居善地ト云フ、尤
モ大切ナルト云ヘ、第一ニ置タルナリ、尤_〇ソ_〇賢

人○君○子○ノ○身○ヲ○殺○ス○ニ○至○ル○ハ○自○身○モ○好○ム○事○ニ
ハ○非○レ○ル○ム○ツ○カ○シ○キ○瀬○ニ○ノ○リ○カ○ハ○リ○テ○善○人
ニ○ナ○ル○カ○惡○人○ニ○ナ○ル○カ○ニ○ツ○ニ○一○ツ○ノ○手○詰○ト
ナ○ル○夫○故○據○口○ナ○ク○命○ヲ○棄○テ○惡○人○ニ○ナ○ラ○ヌ○様
ニ○ス○ル○ナ○リ○又○其○時○命○ヲ○惜○ミ○テ○一○生○ノ○善○行○ヲ
無○ニ○ス○ル○族○モ○多○シ○是○ノ○身○ノ○居○リ○所○ワ○ル○キ
故○ナ○リ○上○善○ヲ○ス○ル○者○ハ○最○初○ニ○身○ノ○居○ル○所○ヲ
擇○ミ○テ○善○人○ニ○モ○惡○人○ニ○モ○成○ル○ニ○及○ハ○ヌ○所○ニ

居○ル○ナ○リ○其○上○ニ○テ○善○ノ○サ○レ○ル○時○節○到○來○ス○レ
ハ○出○テ○善○ヲ○ナ○シ○サ○レ○又○時○ハ○イ○ツ○マ○テ○モ○セ○ス
ニ○居○ル○善○ヲ○ス○レ○ハ○人○ノ○為○メ○ニ○モ○身○ノ○為○ニ○モ
ナ○ル○ナ○リ○セ○又○ト○テ○惡○人○ニ○ハ○ナ○ラ○ス○是○上○善○ヲ
ス○ル○手○段○ト○云○フ○モ○ノ○ナ○リ○

致虚極章

致虚極。守静篤。

此章ハ人君ノ道ヲ明カス所ナリ、虚ハ實ノ反

對ニシテ、何ニモナキ事ナリ、致虚極トハ、人君
 タル者ハ、其心ヲ空虚ニシ、善ヲモ思ハス、惡ヲ
 モ思ハヌ様ニ、極々致シ極ムヘシトナリ、靜ハ
 動ノ反對ニシ、動カヌトナリ、是ハ其身ヲ靜ニ
 シ、善事ヲモセス、惡事ヲモセヌト云フ處ヲ、手
 篤ク守ルヘシトナリ、致虚ハ無心ナリ、守靜ハ
 無爲ナリ、人君ハ、内無心ニシテ外無爲ト云フ所ヲ、
 手堅ク心得ヘシトナリ、

萬物並作。吾以觀其復。

萬物ハ萬人ナリ、作ルハ事ヲ思ヒ立ツナリ、以
 トハ、虚ト靜トノニツヲ以テスルナリ、復トハ、
 思ヒ立ツトヲヤメテ、其前ニ反ルナリ、言口ハ
 萬人競テ事ヲ思ヒ立チ、來テ挑ムト雖モ、イツ
 迄モ虚靜ノニツヲ守リテ居ルナリ、此ノ如ク
 スレハ、彼モ亦自然ト思ヒ立ツトヲヤメテ、本
 ノ無事ニ反ルナリ、觀トハ、觀テ待テ居ル意ナ

リ、夫物芸々。各歸其根。

芸々ハ多キ貌ナリ、萬物ノ動キ立チタル時ハ、
芸々トシテ多シト雖モ、暫クスレハ其本ニ立
チ歸リテ、靜マル者ナリ、夏ノコロ百蟲ニ十外
ニ出テ動ケル、秋冬ニ至レハ、蟄シテ穴ニ入カ
如シ、人モ種々ノ事ヲ思ヒ立ツ者アレル、上ヨ
リ取合スニヲレハ、自然ト休テ本ニ歸ルナリ、

歸根曰靜。靜曰復命。復命曰常。

萬物根ニ反レハ、靜カニナルナリ、靜カニナレ
ハ、天命ノ本ニ反ル道理ナリ、天命ニ歸レハ、平
常ニシテ易ハラヌナリ、此三句、大抵同意ナリ、
萬物皆靜カナルヲ根本トシ、天命ノ常トス、動
クハ變ニシテ常ニ非サルナリ、
知常曰明。不知常妄作凶。
萬物皆靜カナルヲ常トシ、動クヲ變トス、靜カ

ナルカ常ト云フ一ヲ知テ、人ハ動ケル我ハ動
カス、人ノ静カニナルヲマツ、是物ノ理數ニ明
カナルト云フモノナリ、モシ静カナルヲ常ト
スルノ理ヲ知ラサレハ、人動ケル我亦動ク、理
ヲ知ラスノ動クハ、妄リニ動クナリ、必ス禍凶
ヲ招クナリ、
知レ常容。容乃公。公乃王。王乃天。天乃道。道乃久。没身
不_レ殆。

常ヲ知テ静ヲ守ル人ハ、人ヨリ如何ナル事ヲ
仕カケタリ、争ヒ拒ム一ナクメ、黙シテ之ヲ
容ル、ナリ、是ハ向フノ人モ追々静マルト云
フ一ヲ知ルユヘナリ、此ノ如ク物ヲ容レハ、其
心人我ノ私ナキ故ニ、公ト云フ處ニ叶フナリ、
是乃千帝王天下ヲ兼畜ユルノ量ナリ、又天ノ
萬物ヲ容ル、理ニモ叶フナリ、天ニ叶ヘハ道
ニモ叶フ、道ハ天地ヲ生スル物ナリ、道ニ叶ヘ

ハ、永久不滅ナリ、人ヨク此所ヲ知レハ、生涯危
キ事ハナキナリ、容公王天道久ト、段々疊ミカ
クテ云ヒタルニハ、深キ差別ハナシ、夕、反復
重疊ノ、其妙處ヲ賛歎シタル者ナリ、
致虚守静テ、物ノ復スルヲ觀ルト云フ、辟言ヘ
ヲ舉テイハ、漢ノ文帝ハ時、千里ノ馬ヲ獻ス
ル者アリ、文帝之ヲ無用ノ物ナリトシテ受ケ
玉ハス、是ヨリ物ヲ獻メ上ニ媚ヲ求ルトヤミ

タリ、嗇夫ノ官辯舌ヲ逞フメ、上ノ意ヲ迎ヘタ
レ、凡賞シ玉ハス、是ヨリ上ニ取入ル事ヲスル
者ナシ、吳王濞謀反ノ志アリテ、入朝セサリシ
ヲ答メスメ、却テ凡杖ヲ賜ヒタル故ニ、反謀自
カラ止ミタリ、張武カ賄賂ヲ受シトテ答メス
メ、却テ金錢ヲ賜ヒタレハ、百官ノ賄ヒヲ受ル
ト、自カラ止ミタリ、是等ノ慶賞スヘクメ、必シ
モ賞セス、罰スヘクメ、必シモ罰セス、唯虚静ニ

凡人ハ心ヲ静メタルナリ、是文帝ノ老子ヲ好
 之五ビシ處ナリ、但シ此趣意ハ、人君ニ限ラス、
 平人ノ上ニモアルナリ、譬ヘハ、醉狂人アリ
 テ、我ニ種々ノ無禮ヲナスナリ、我ヨリ相
 手ニナラサレハ、自然ト静マルナリ、是虚静ニ
 ノ復ヲ觀ルノ理ナリ、モシ醉狂人ヲ相手トメ、
 爭論ニ及ビタラハ、イワユル不知常妄作凶ト
 云フモノナリ、是ハ凡人ト雖モ、心付クナリ、

達人ヨリミレハ、世上有爲ノ人ハ、皆醉狂人ノ
 如シ、我心ヲ動カノ相手ニナルハ、愚ノ至リト
 思フナリ、

某禪師山中ニ菴ヲ結ビタルニ、鬼魅多クノ種
 々ノ畏口シキヲナシテ、禪師ヲ恐シタリ、然
 レモ禪師安然トノアリシニ、後ハ鬼魅自カラ
 退キテ、障礙ヲナスナシ、人禪師ニ問フ、如何
 ナル術ヲ以テ、鬼神ヲ退治シ玉フヤ、禪師答ヘ

テ。我。ニ。術。ナ。シ。唯。空。ヲ。以。テ。ス。ル。ノ。ニ。山。鬼。ノ。伎。
倆。ハ。盡。ル。一。ア。レ。凡。老。僧。ノ。一。空。ハ。盡。ル。一。ナ。シ。
ト。云。ヘ。リ。禪。師。ノ。空。即。チ。老。子。ノ。虚。静。觀。復。ノ。義。
ナ。リ。

希言自然章

希言自然。

此章ハ、己ム一ヲ得ヌ、又、虐亂ノ朝ニ立ツ時ノ
心得ヲ云フナリ、希言トハ、言希ナルナリ、亂朝

ニ立テ多言ナルハ、禍ヲ招クノ道ナリ、唯言少
ナクメ居レハ、自然ト事ノ落着アルナリ、多言
ニメ急ニ事ヲセントスレハ、必ス誤ル、自然ノ
成リ行キニ任スルカヨキナリ、
飄風不終朝、驟雨不終日、孰爲此者、天地、天地猶不
能久而況於人乎。

自然ノ成リ行キトハ、譬へハ飄風ハツチマキ風
ナリ、驟雨ハ夕立チ雨ナリ、此ニツハ、勢ノ厲シ

キ者ナリ、其起リシ時ハ、天地モ震動スル程ノ
一ナリ、然レモ一朝カ一日ノ内ニハ静マルナ
リ、総テ常理ニ反シタル一ハ、久ク續カヌ者ナ
リ、況ヤ人ノスル一ニ於テヤ、暴亂ノ行ヒヲナ
ス者ハ、久シカラヌノ自滅スルナリ、其期ヲ知
ラヌノ、言語ノ上ニテ、急ニ是ヲ改メントスレ
ハ、必ス禍ヲ取ナリ、
故從事於道者。道者同於道。德者同於德。失者同於

失。同於道者。道亦樂得之。同於德者。德亦樂得之。同
於失者。失亦樂得之。

夫故道ヲ守ル者ハ、強ヒテ上ノ仕方ニ逆ラフ
一ハセヌナリ、上タル人道德ニ叶ヒタル一ヲ
スレハ、ソレト同意スルハ勿論ナリ、道德ヲ失
ヒタル一アリモ、先ツ同意ノ形ヲナスナリ、
然レモ、惡事ノ繁昌スル勢ヒ、恰モ飄風驟雨ノ
如クニモ、暫時ニ止ムナリ、其時ニ始メテ強ヒ

テ諫言ナトセサリシ一ヲ人皆合點スルナリ、
信不足者有不信。

右ノ一必竟ハ其人ニ忠信ノ意満足スル故ニ、
傍ヨリ見ル人モ彼レハ諂諛ヲ以テ身ヲ立ル
者ト思ハヌナリ、モシ我信足ラスノ濁亂ノ朝
ニ立テ此ノ如クナラハ、イカ程多言ニメ申譯
ヲナスル人兼知セヌ一ナリ、

此章ノ主意ハ、唐ノ狄仁傑ノ一ヲ譬ヘトスレ

ハ能ク通スルナリ、仁傑ハ一生則天ニ仕ヘタ
ル人ナリ、則天一淫亂ノ女子ヲ以テ唐ノ社稷
ヲ顛覆シ、國號ヲ周ト改メ、李姓ヲ武姓ニカユル
ニ至ル、然レモ時ノ勢ト如何トモスヘカラス、
仁傑則天ニ仕ヘ、宰相トナリ、言聞カレ、謀用ト
ラレ、唐室ヲ再興スル志アレモ、果サスノ没シ
タリ、其後仁傑カ薦メ置キタル諸臣、則天カ老
病ノ時ヲ伺ヒ、之ヲ廢メ、唐室ヲ再興シタリ、後

世。仁。傑。ヲ。唐。ノ。忠。臣。ト。稱。シ。間。然。ス。ル。者。ナ。シ。若
 シ。他。人。ナ。ラ。ハ。如。何。ソ。後。世。ノ。譏。ヲ。免。レ。ン。ヤ。是
 ヲ。以。テ。君。子。ノ。道。忠。信。ヲ。尊。ン。テ。多。言。ニ。在。サ。ル
 一。ヲ。知。ル。ヘ。シ。凡。ソ。大。臣。或。ハ。賢。人。ナ。ト。亂。朝。ニ
 立。テ。忠。直。ノ。道。足。ラ。ス。諫。言。ス。ヘ。キ。一。ヲ。默。ス。ル
 人。多。シ。ヨ。ク。此。意。ヲ。知。テ。妄。リ。ニ。批。判。ヲ。加。フ。ヘ
 カ。ラ。サ。ル。者。ナ。リ。

將欲喻之章

將欲喻之。必固張之。

此章ハ、暴國惡人ナトヲ平ケント思フ時ノ仕
 方ヲ云ヒタルモノナリ、此ニ句ハ、弓ノ事ニ譬
 ヘテイヘリ、喻ハユルムナリ、強弓アリテ、少
 シ之ヲユルメント思ハ、常々ハリツメテ置
 クナリ、左スレハ、自然トユルム様ニナルナリ、
 人事ヲ以テ云ヘハ、越王勾踐、吳ニ事ヘタル時、
 吳ヨリ齊ヲ伐ントス、勾踐加勢ノ兵ヲサシム

之、共ニ齊ヲ打破リ、其上ニテ吳ノ疲レタル處
 ヲ襲フテ、之ヲ破レリ、一旦齊ニ勝タシメテ、其
 勢ヲハリ、而メ後ニ打破リテ、之ヲユルメシテ
 リ、必固トハ、彼方ヨリ望マス所、此方ヨリ是非
 所、其通リニスヘシト云フ意味ナリ、
 將欲弱之。必固強之。

相手勢ヒ強クハ、尚々ツヨラセ置テ、其上ニテ
 弱ムヘシトナリ、譬ヘハ、趙ノ李牧カ北邊ヲ守

ル時匈奴來リ攻ムルト雖モ、敢テ戰ハス、專ラ
 柔弱ノ體ヲ示シ置キテ、彼方ニ驕ラセ、其上ニ
 テ大ニ打破リシ類ナリ、
 將欲廢之。必固興之。

廢ハ横ニ倒ス心ナリ、相手ヲ倒サント思ハハ、
 一旦ハワサト是ヲ立テ置キテ、其上ニテ倒ス
 ヘシトナリ、晋ノ桓玄カ帝位ヲ奪ハントスル片、
 其一族ヨリ其事ヲ劉裕ニ問フタリシニ、劉裕

之ヲ勸メタリ、桓玄已ニ帝位ヲ篡フニ及ンテ、
劉裕兵ヲ起メ之ヲ打セホシタリ、是桓玄帝位
ヲ篡フ時ハ、其惡已ニ盈テ、亡ホシ易キヲ知リテナリ、
將欲奪之。必固與之。

向フノ物ヲ奪ヒ取ント思ハ、一旦此方ヨリ
與ヘ置クヘシ、譬ヘハ、知伯カ土地ヲ韓魏兩家
ニ求メシ時、兩家ヨリ地ヲ割ヒテ與ヘ置キ、其
後趙トカヲ合セテ、知伯ヲ打セシ、其土地ヲ三

ツニ分チシ類ナリ、是謂微明。

微ハカスカナリ、明ハ光リナリ、敵ヲ亡ホサン
ト思フ本意ヲ包ミ隱メ、アラハサヌ處ヲ、光ヲ
カスカニスルト云ヒタル者ナリ、

柔之勝剛、弱之勝強。魚不可脱於淵。國之利器。不可
以示人。

前ニ述ヘタル所ハ、柔ヲ以テ剛ニ勝チ、弱ヲ以

テ強ニ勝ツノ方ナリ、何故ニ柔弱ヲ以テスル
 ソト云フニ、其譯ハ、譬ヘハ、魚ハ淵ノ深キ所ニ
 居テ、形ヲ人ニ見セヌ様ニスヘシ、若シ淵ヨリ
 ヌケテ淺キ所ニ來リ、形ヲ見ラルレハ、人ニ取
 ラル、ナリ、國ニモ利器ト云フモノアリ、利器
 ハ、刃ノ事ニテ、人ヲ殺ス器ナリ、此利器ハ、猶魚
 ノ如シ、其アリカヲ人ニ知ラシムヘカラス、人
 ニ知ラシムレハ、人具ヲ奪ヒ取テ、却テ我ヲ殺

スニ至ル、信長カ明智ヲ殺ス意アリシニ、明智
 之ヲ悟リテ、却テ信長ヲ弑スルノ類ナリ、故ニ
 利器ヲ人ニ見セヌ仕方、即チ前ノ微明ノ術ナ
 リ、

此章ノ主意ハ、老子平生無爲ニメ、天下ノ先ト
 ナラス、故ニ惡人暴國ヲ退治スルニモ、此方ヨ
 リ手ヲ出サス、相手ノ自滅スルヲ待ツナリ、後
 人此章ヲ陰謀ノ言ナリトテ忌嫌フハ誤レリ、

老子ノ本意ハ、ナルタケ人ニモ我ニモキスノ
付カヌ様ニメ、取治メント思フヨリ、此工夫ニ
及ビタルナリ、孔子ノ臨軍而懼、好謀而成スト
宣ヒシニ叶ヘリ、伯夷ノ武王ノ紂ヲ伐チ玉フ
ヲ諫メシモ、此意ニテ紂カ自滅スルヲ待玉ハ
ハ、刃ニ血ヲヌラサヌメ、天下ハ定マルヘシト
思ヒタルナリ、武王之ニ從ヒ玉ハサリシユヘ、
牧野ノ戦ニ、流ル、血杵ヲ漂ハスニ至レリ、先

儒ノ伯夷少シ、老子ニ似タリト評セシモ、此等
ノ處ナルヘシ、總ノ老子ノ學ハ、虚ヨリ實ヲ生
シ、無ヨリ有ヲ生シ、柔ヲ以テ剛ニカク、弱ヲ以
テ強ニカツヲ至意トセリ、八十一章スヘテ同
様ナリ、人虚無ト云フ一ヲ解シチカヘ、一概ニ
其心ヲ死灰ニシ、其形ヲ槁木ニスル一トノミ
心得タルユヘ、此章ニ至リテ疑ヒヲ生スルナリ、
聖人無常心章

聖人無常心。以百姓心為心。

常心トハ、定リタル心ナリ、是ハ好ム、是ハ惡ム
ト、定リタルハナク、天下ノ人ノ好ムト好
ム、惡ムト好ム、是百姓ノ心ヲ以テ心トスル
ナリ、

善者吾善之。不善者吾亦善之得善矣。

是ヨリ以下ハ、百姓ノ心ヲ以テ心トスル處ヲ
云ヒタル者ナリ、善者アリテ善事ヲナセハ、吾

之ヲ善トスルハ勿論ナリ、不善者アリテ、吾ニ
向テ惡事ヲナス時、吾亦之ヲ拒マヌメ、矢張善
者同様ノアキラヒニスルナリ、此ノ如クスレ
ハ、後ハ不善者モ恥入りテ、惡ヲセヌ様ニナル、
是不善者ヲメ善ヲ得セシムルナリ、善不善ヲ
擇ハス、同シアキラヒニスル處、常心ナキ所ナリ、
信者吾信之。不信者吾亦信之得信矣。

此モ前ト同シ道理ナリ、信者ヲ信トスルハ勿

論ナリ、不信者アリテ、吾ヲ欺ク時、矢張コレヲ
信ニメ引受ルナリ、此ノ如クスレハ、氣ノ毒ニ
思ヒ、後ハ詐ヲ云ハ、又様ニナル、是不信者ヲメ
信ヲ得セシムルナリ、
聖人之在天下。慄慄為天下渾心。

慄々トハ、落付カヌ貌ナリ、心ヲ渾スルトハ、善
惡信不信ヲ差別スル心ノナキ様ニ、一ツニ渾
合スルナリ、モシ差別ノ心アリハセヌカト、氣

遣ヒテヲル處ヲ形容メ、慄々ト云ヒタル者ナリ、
百姓皆注其耳目。聖人皆孩之。

百姓ニナ我ハ善ヲナシ置タリ、我ハ惡ヲナシ
置タリ、我ハ信ヲ云ヒ置タリ、我ハ虚ヲ云ヒ置
タリ、上ヨリ如何賞シ玉フヤ、如何罰シ玉フヤ
ト、各耳ヲ付ケテ上ノ言ヲ聞キ、目ヲ付ケテ上
ノ所作ヲ見ル、然レモ聖人ノ心ニテハ、皆之ヲ
孩兒ニシテアシラヒ玉フ、孩兒ノスルトニハ、

善惡モ信偽モナケレハ、唯一様ニアシライテ、
是ヲ育スルマテナリ、此章ノ主意、國ヲ治ムル
ニ、善惡信偽ヲ精シク差別スレハ、限りナク繁
雜ニナルユエ、大抵ニノ置クカヨシト云フ心ナ
リケ様ノ處、人ノ疑フ所ナリ、惡ヲモ善トシ、偽ヲ
モ信トシテ、之ヲアシラヒテモ、若其者カ改メ
スハ、如何セント思フ、其レハ物ノ數ニ暗キナ
リ、人ノ惡事ハ、制禁シテモ、スル丈ケハスルモ

ノナリ、亦制禁セズ、止マル時ハ止マル、譬ハ
ハ、商人ノ物ヲ賣ルハ、始メヨリ價ヲ定テ、債ヲ
トルナリ、然レモ時ニヨリテハ、代錢滞リテ損
失ヲスルトアリ、醫師ノ藥ヲ施スハ、價ヲ論セ、
ス、謝儀ヲ持テ來ル時、多モ少モ同シ、挨拶ニテ
受納スルナリ、然ラハ一向ニ謝儀ヲ贈ラヌ者
多クナリテ、醫師ハ相立又苦ナレモ、左様ニハ
ナラヌ者ナリ、買物ノ價ヲ償フ者モ、醫師ニ謝

儀ヲ贈ル者モ、同シ人ナレ、凡向フヨリハ、ア、レ
 ラ、ヒカ違ヘ、ハ、此方ハ仕方モ亦異ナリ、是ヲ以テ
 國ヲ治ムル者ハ、善惡ヲ差別シ、賞罰ヲ分明ニ
 スルハ、第一義ハ事ニアラスト云フ下ヲ知ル
 ハキナリ、
 天下有始章
 天下有始。以爲天下母。此章ハ首章ノ無名天地之始、有名萬物之母ト

云フ下ヲ申子テ言タルナリ、始トハ無ナリ、一
 切ノ有ヲ生ス、是天下ノ母ナリ、
 既得其母。以知其子。既知其子。復守其母。沒身不殆。
 道ヲ學フ人ハ、先ツ無ト云フ者ノ大切ナル一
 ヲ知り、是ヲ手ニ入ル、様ニスルナリ、左スレ
 ハ一切ノ有ハ、皆無ノ子トナルコトヲ知ナリ、
 其上ニテ、有ニ流レス、本ノ無ニ立チ反リテ、之
 ヲ守ルヲ善トス、此ノ如クナレハ、終身殆キ一

ハナキナリ、譬へハ、樹木ノ根柢ト枝葉トアル
ニ、枝葉ハ根柢ヨリ出ルト云フヲ知レハ、專
ラ根柢ニ培カフナリ、左スレハ、枝葉ハソレニ
隨テ繁榮スルカ如シ、

塞其兌。閉其門。終身不勤。

是ハ知子守母ノ仕方ヲ云ビタルナリ、兌ハ口
ナリ、口ヲ塞トハ、口ヲ塞キテ言ハヌナリ、イワ
ユル不言ノ教ナリ、門ハ車ノ出ル處ナリ、門ヲ

閉ルトハ、車ヲ閉テセヌナリ、イワユル無爲ノ
車ナリ、此ノ如クスレハ、安樂無事ニナリテ、終
身勤勞スルハナキナリ、是即チ無ヲ守ルナリ、
開其兌。濟其事。終身不救。

是ハ母ヲ守ラヌ害ヲ云フナリ、口ヲ開クハ多
言ナリ、車ヲナスハ、有爲ナリ、此ノ如クナレハ、
車ヨリ車ヲ生シ、終身勞苦ニ陥リテ、救フヘカ
ラス、

見小曰明。守柔曰強。

是ハ塞兌閉門ノ仕方ヲ示シタルナリ、允ソ如
何ナル大事モ、其始メハ皆無事ナリ、事ノ小ナ
ル時ニ早ク其手當ヲシテ、大事ニ至ラヌ様ニス
ル、是未然ヲ察スルニテ、智ノ明ナル所ナリ、又
堪忍ヲ第一トシ、人ヨリ無理ヲ仕カケタリ、
立腹セズ、柔順ニシテ居ル時ハ、事ハ起ラヌ者ナ
リ、其堪忍強キ處カ、真ノ強キト云フ者ナリ、見

小ノ明ト、守柔ノ強トヲ以テスル時ハ、事ノ起
ルヘキ所モ、無事ニテ濟ムナリ、
用其光。復歸其明。無遺身殃。是謂襲常。

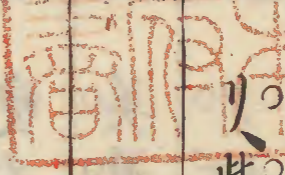
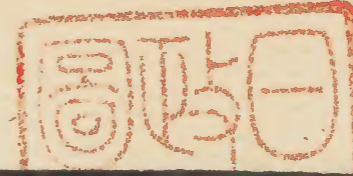
光ト明トハ、智ヲ形容シタル言ナリ、光ハ外ニ
輝キタル處ニメ、智ノ用ナリ、明ハ内ニ明カナ
ル所ニメ、智ノ體ナリ、道ヲ知ル人ハ、智ヲ外ニ
顯ハサヌメ内ニ隱ス、内ハ本ナル故ニ、復歸ト
言ヒタルナリ、是乃チ知レ子知レ母ノ義ナリ、此ノ

如クナレハ、終身不始メ、身ニ殃禍ヲ遺ス。ナ
シ、襲ハツ、之ニ藏クスナリ、常久ノ道ヲ身ニ藏
スル故ニ、一切ノ危難ヲ免ル、ナリ、
知レ子守母ト云フ、事ヲ舉テ、ハ、上古ノ時
ハ、刑罰ト云フ、無リシナリ、人ハ子ヲ殺セ、ハ、人
亦其子ヲ殺ス、人ハ妻ヲ奪ヘ、ハ、人亦其妻ヲ奪
ス、何事モ相對ニテ濟スナリ、是刑罰ノ本ニ、
即チ母ナリ、聖人出ルニ及ンテ、始メテ五刑ハ

法アリ、一切ノ事相對ニスル、トヲ禁メ、上ヨリ
ハ、裁斷ニ任スルナリ、是相對ノ反報ヨリ出タ
ル、トナレハ、即チ子ナリ、國ヲ治ムル人、上古ハ
刑罰ナクメ、治マリシト云フ、トヲ知レハ、刑罰
ヲモ、餘リ繁雜ニスル、トナクメ、下ヨリ訟ヘ出
タ、ル、トハ、之ヲ捌キ、再濟スル時ハ、大抵ノ事ハ
知ラヌ、顔ニテ過スナリ、是ヲ子ヲ知テ母ヲ守
ル、ト云フナリ、モシ母ヲ守ルノ義ニ暗キ時ハ

下ハ内濟セント思ヘトモ、夫ニテハ上ノ法度
 立ヌト云フ一ニナリテ、聊ノ事モ穿鑿キヒシ
 クナリ、後ハ秦ノ苛法ト云フ様ナル事ニナリ
 行クナリ、始皇帝ハ、早朝ヨリ夜中マテ、政事ヲ
 捌キテモ事スマス、秤ヲ以テ願書ヲカケテ、一
 日何斤ツ、ト定メテ、事ヲ決シ玉ヒシナリ、是
 開ニ其兌、濟ニ其事、終身不救ト云フモノナリ、
 他事モ之ニ準ノ知ルヘシ、古ノ時ハ葬禮ト云

フ一ハナク、死スル者ヲハ野ニ棄シナリ、一變
 メ之ヲ地ニ埋ル様ニナリ、又變ノ棺ヲ作り、又
 變メ擲ヲ作り、又變ノ明器ヲ作ル、其後ハ段々
 美麗ヲ極メ、穴ノ中ニ城郭宮室ヲ構ヘ、數百人
 ヲ殉葬スルニ至ル、秦ノ亂ナトハ、始皇墓所ノ
 公役多キヨリ起レリ、其他大牢ハ、珍ハ、饑ヲ療
 スルヨリ起リ、瓊樓金闕ハ、風雨ヲ掩フニ始マ
 リ、黼黻文章ハ、身ヲ包ムニ始マリ、三千ノ宮女



老子持解卷上

四十六頁

八○婚○姻○ノ○子○孫○相○續○ス○ル○ニ○始○マ○ル○何○ニ○事○モ○母○ヲ○
 志○レ○テ○子○ヲ○守○リ○本○ヲ○捨○テ○末○ニ○趨○ル○ヨ○リ○奢○靡○
 一○流○レ○繁○雜○ニ○成○テ○終○ニ○天○下○ノ○困○窮○ト○ナ○ル○ナ○
 リ○此○章○ノ○旨○深○ヒ○カ○ナ○



刻印

